

- ② 公式LINEの機能を拡大
- ③ 未来へつなぐ学びを充実
- ④-⑤ **特集** 地域とつながる産業
企業が生み出すまちの活力
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」



完熟トマトを味わう



旬のトマトはこちらから

《主な販売場所》

- ・夢末市(温水255) ☎290-0141
- ・JA あつぎグリーンセンター
(三田1827-1) ☎241-6150
- ・依知農産物直売所(関口833)
☎070-5081-1493
- ・荻野農産物直売所(鳶尾5-26-28)
☎241-6411
- ・玉川農産物直売所(小野2444)
☎250-5300

うららかな日の光が差し込むビニールハウスに、赤く色づいたトマトがずらりと実っています。

「厚木は消費者との距離が近く、新鮮な状態で味わってもらえる。年間を通して季節に合った品種を選んで育てているので、いつでも旬のトマトが楽しめる」。収穫の作業に汗を流すのは、農家を始めて28年になる西山賢一さん(53・戸田)。五つのハウスの約10種類のトマトを育てています。

市内で生産された「厚木トマト」はかながわブランドに登録され、甘みと酸味のバランスが良く、コクがあるのが特長です。5月から6月にかけては最も旬な季節。地元の新鮮なトマトを味わってみませんか。

☎農業政策課 ☎251-2801

Zoom Up

さらに便利なツールに

公式LINEの機能を拡大

4月から、市公式LINEの機能を増やしました。新たに人工知能（AI）を活用したホームページ検索、写真でごみの捨て方を案内する機能、多言語化や気象情報の即時配信などを追加。必要な情報が、見やすく簡単に受け取れるようになりました。

イベントや講座などの情報を発信している市公式LINE。2020年にアカウントを開設し、3万9000人を超える方に利用されています。24年1月に、ごみの分別機能を追加し、メニューを見やすいデザインにリニューアル。さらに今年4月からは、AI機能や多言語化などの便利な機能を増やしました。

利便性を向上

新しくメニューに配置したのが「AI総合案内メニュー」です。知りたい内容を検索バーに入力すると、AIが市ホームページの情報の中から回答を返します。ごみの写真を撮るだけで、



機能が充実した市公式LINE 愛TV 5/1~

追加機能の内容

- ①AI機能の導入
AIが質問に回答。写真でごみを判別して捨て方や収集カレンダーも案内
- ②多言語化
設定から希望の言語を選択でき、メニュー画面や配信内容を5言語で表示
- ③気象情報を配信
気象庁が市内に発表した気象・地震・南海トラフ地震臨時情報を即時に配信
- ④メニュー画面の選択制
利用者が使いやすい画面を選択できるように「通常版」「シンプル版」を用意
- ⑤講座予約機能の拡張
予約の一覧や講座検索画面のレイアウトを見やすく変更
- ⑥「Pick Up」機能を強化
メニューにある「Pick Up」に、市の目玉事業や最新のお知らせなどを表示



詳細はこちら

時代に合わせた行政へ

市では、他にも各種手続きの電子化

他にも、登録者にメールでお知らせしていた気象情報の配信も開始。気象庁が市内に発表した気象・地震・南海トラフ地震臨時情報が即時で受け取れるなど、生活に役立つツールとして大きく進化しました（左欄参照）。

市公式LINEを登録しよう

初めに

「LINE」のアプリをインストールしてユーザー登録

登録方法

- 二次元コードを読み取る
- 友だち追加からアカウントID「@atsugi_city」を検索



DX推進課 ☎25-2447

をはじめ、昨年には自治会向け回覧アプリ、スマートフォンを利用した視覚・聴覚に障がいのある方向けの支援システムなどを導入。今後もデジタル技術を活用し、サービスの向上につなげていきます。

5月29日から新たな防災気象情報に変更

レベル4までに危険な場所から必ず避難を

気象庁が発表する防災気象情報の伝え方が変わります。避難のタイミングが分かりやすくなるよう、警戒レベルで危険度を示します。いざという時に、命を守る行動が取れるよう確認をしましょう。 ☎危機管理課 ☎225-2190

■新しい防災気象情報

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崖崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとに) 住民が取るべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険。直ちに安全確保を
< 警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！ >					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	時間を要する人は早めに避難、避難準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や経路、タイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

《変更のポイント》

- 危険度を分かりやすくするため、警報・注意報の情報名に「レベル」を追加
- 避難を促す警戒レベル4相当の情報は「危険警報」として発表
- 特別警報の新設など、河川の氾濫の危険度の伝え方を変更



詳細はこちら

命に寄り添う

5月12日は看護の日



一人一人が看護やケア、助け合いの心を持って過ごしましょう。

1日看護体験

看護の現場を体験してみませんか。

- 日時** 8月6日 8時45分～12時
- 場所** 市立病院
- 内容** 病棟で看護ケアを体験
- 対象** 市内または近隣市町村在住の高校生20人程度
- 費用** 無料

☎6月15日までに市立病院HPから申し込み。抽選。

申し込みはこちら



☎病院総務課 ☎221-1570



子どもたちが安心して学び、成長できる環境を整備

Q Zoom Up

第3次市教育振興基本計画がスタート 未来へつなぐ学びを充実

今後10年間にわたる市の教育指針となる「教育振興基本計画」を策定しました。新たな基本理念「未来を創る人づくり」の下、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる環境づくりを目指します。

次世代の担い手に

教育振興基本計画は、市の学校教育や社会教育を推進するための計画です。近年、デジタル化の進展や少子化の加速など、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした社会情勢に対応しながら、主体的に未来を切り開いていく人材の育成、誰もが幸せを実感できる「ウェルビーイング」の向上を図るための新たな計画を策定しました。

計画期間は、2035年度までの10年間です。基本理念の実現に向け、自ら未来を切り開く「挑む力」、多様性を認め合い協働する「つながる力」、新たな価値とより良い社会をつくり出す「築く力」の育成を柱に据えました。基本理念を具現化し、実効性のある取り組みを推進するために四つの基本方針を策定（左欄参照）。学力や課題解決力の向上を図るとともに、誰もが自分らしく安心して学べる教育環境を整えます。家庭・地域・学校が一体となつて子どもの成長を支える体制も強化。生涯を通じて学び続け、その成果を地

計画のポイント

■基本理念 未来を創る人づくり

子どもたちが「挑む力」「つながる力」「築く力」を育み、厚木の未来をつくり出す人材の育成を目指します。

■施策の展開 四つの基本方針を定め、具体的な施策を進めていきます。

- 基本方針 1 児童・生徒に必要な資質・能力の育成
- 基本方針 2 安心・安全に、共に学ぶことができる教育環境の整備
- 基本方針 3 地域社会との連携・協働を中心とした教育体制の充実
- 基本方針 4 生涯にわたり心豊かな生活を支える学びの推進



詳細はこちら

☎教育総務課 ☎225-2663

一人一人に目を向けた教育を

域社会に生かせる環境づくりを進めていきます。計画策定の委員を務めた紺野綾乃さん（46・中町）は「子どもを育てる親の目線になって意見を出した。学校だけでなく、地域全体で子どもたちを見守り、育てていくまちになってほしい」と期待を寄せます。

少子化が進む中、児童・生徒の個性を伸ばすきめ細やかな教育が求められています。昨年度、市立小・中学校の全児童・生徒用に整備している端末を更新するとともに、AI型デジタルドリル教材を導入。一人一人の理解度や学習進度に合わせた学びを提供していきます。今年度は、大学や企業からの協力を受け、中学生向け講座「あつぎ未来塾」を新設。先端技術などに触れる体験を通じ、将来への展望を広げることにつなげていきます。

今後、誰もが主体的に学び、可能性を広げられるよう、質の高い教育環境の構築に取り組んでいきます。

☎教育総務課 ☎25-2663

参加者募集 集まれ厚木の大学生！

あつぎにぎわいアドベンチャー隊

市のイベントの企画・運営、まちの魅力をPRする大学生を募集します。 ☎商業観光課 ☎225-2840

対象 市内5大学（神奈川工科・松蔭・湘北短期・東京芸芸・東京農業）の学生または市内在住の大学生

期間 6月～2027年3月31日

☎5月18日までに市HPにある電子申請システムから申し込み。



詳細はこちら



アドベンチャー隊とは？

中心市街地のにぎわい創出を目指し、大学生の視点からまちの魅力を発信する団体です。学生同士の交流も魅力の一つです。

《活動内容》

SNSを使ったお薦めスポット・飲食店の情報発信やハロウィーン、あゆコロちゃんバスデーなどのイベントを企画・運営します。

愛TV 5/1～

夏休み期間に子どもたちの居場所を

小学生預かりサービス



夏休み期間中、働く保護者に代わって小学生を預かり、日中の生活や遊びの場を提供します。

日時 7月21日～8月26日 7時30分～18時（土・日曜、祝日、8月11～15日を除く）

場所 ぼうさいの丘公園

対象 ①保護者が就労中で昼間は家庭にいない②保護者が実施場所に送迎できる③市立放課後児童クラブを利用していない④の全てを満たす市内在住の小学生45人

費用 1万1000円（昼食、飲み物は各自で用意）

☎子ども育成課や市HPにある申請書と必要書類を、直接または郵送で5月25日～6月5日（必着）に☎243-8511子ども育成課へ。審査あり。



詳細はこちら

☎子ども育成課 ☎225-2582

科学や発明に興味を 松川サク 工業振興基金

相模ゴム工業の創設者で名誉市民でもある故・松川サクさんの遺志による寄付を基にした基金です。工業を学ぶ学生に贈る「松川サク工業賞」や小・中学生を対象とした「青少年発明コンクール」を実施しています。



夏休み明けに作品を募集 青少年 発明コンクール

日常で感じる「あったらいいな」を形にしてみませんか。入賞者には、図書券や協賛企業からの豪華賞品をプレゼントします。

【対象】市内在住の小・中学生
申し込み方法などの詳細は、市HPなどに掲載。



あつぎの魅力を動画で発信

「仕事・産業」をテーマに、街の魅力をPRする動画を公開しています。



【ものづくり最前線】
ものづくり企業を紹介。市内企業の特長や強み、ものづくりの力、厚木で働く魅力を伝えます。



厚木の産業史

交通網の充実と産業の発展とともに、このまちは成長してきました。

- 1948年
 - ・厚木商工会議所設立
- 1960年
 - ・工場誘致条例を制定
- 1964年
 - ・国道246号(東京～厚津)が全線開通
- 1965年
 - ・第一内陸工業団地造成土地区画整理事業が完了
- 1968年
 - ・東名高速道路(東京～厚木)が開通
- 1969年
 - ・国道271号(小田原厚木道路)が開通
 - ・新国道129号(厚木バイパス)が開通
- 1987年
 - ・松川サク工業振興基金を創設
- 2000年
 - ・国道412号バイパスが全面開通
- 2005年
 - ・市企業等の誘致に関する条例施行
- 2008年
 - ・SEL教育基金を創設
- 2009年
 - ・市企業等の立地促進等に関する条例を施行
- 2024年
 - ・森の里東土地区画整理事業が完了
- 2026年
 - ・酒井土地区画整理事業が完了
 - ・市企業等の立地促進等に関する条例を改正(下欄参照)

特集 地域とつながる産業

企業が生ま出す まちの活力

交通基盤が整う市内には、9400を超える事業所が立地しています。市では、企業が立地する際の奨励措置を定めた条例などを制定。新規の進出や業務の拡大を後押ししてきました。多様な企業が地域とつながり、まちに活力を生み出しています。
産業振興課 ☎225-2830



地域と共に成長を

研究開発業 半導体エネルギー研究所(長谷)



社員が管理するビオトープ



研究開発の様子



科学を教える「おもしろ理科教室」

市内の企業や大学が小学校で実施するおもしろ理科教室で「子ども科学賞」を実施しています。

「科学や自然の面白さを知ってほしい」。同社では山崎舜平会長の思いを受け、子どもたちへの支援に力を入れていきます。地元の小学校へ書籍やパンチを寄付したことを手始めに、2008年には市へ1億円を寄付。市は「SEL教育基金」を創設し、実験や工作を体験できる「おもしろ理科教室」、自然科学分野の自由研究を表彰する「子ども科学賞」を実施しています。

生活に欠かせない電子機器の部品やスマートフォンに使われる技術などを研究開発する「半導体エネルギー研究所(SEL)」は、1985年、発達した交通網と豊かな水に魅力を感じて都内から移転してきました。その後、市の企業立地条例による奨励措置を受けて施設を増設。現在までに5万を超える特許を取得しています。

「子どもたちのために」
「科学や自然の面白さを知ってほしい」。同社では山崎舜平会長の思いを受け、子どもたちへの支援に力を入れていきます。地元の小学校へ書籍やパンチを寄付したことを手始めに、2008年には市へ1億円を寄付。市は「SEL教育基金」を創設し、実験や工作を体験できる「おもしろ理科教室」、自然科学分野の自由研究を表彰する「子ども科学賞」を実施しています。

は、同社が持つ技術である光の三原色やテレビにカラー映像が映る仕組みを教えています。電気を通すと光る塗料をガラス板に塗って発光させる実験にも挑戦。板が青や緑に光ると、子どもたちから「塗っただけなのに光った」「面白い」などと教室に歓声が上がります。講師を務めた社員は「いつも新鮮な反応を見られて楽しい。手伝ってくれる社員からも『またやりたい』という声が上がると、山崎会長の思いが広がっていることを実感しています。

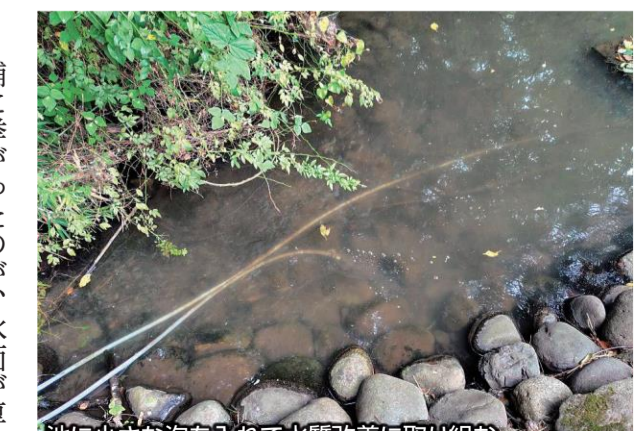
小さな泡が救う未来

製造業 リスニ(温水)

水が出るノズルを手に、ホースにつながれた装置の作動状況を確認するのはリスニの小笠原利江社長(63)と武居廣雄さん(65)です。実験や研究を重ね、水中に1cc当たり数十億から数百億個に上る小さい泡を発生させるノズルを開発しました。「微細な泡にある水質浄化効果を利用して、汚れている池や海などを澄んだ状態にしたい」。二人は昨年9月から、ぼうさいの丘公園にある野鳥の池の環境改善に取り組んでいます。



野鳥の池の水質状況を確認



池に小さな泡を入れて水質改善に取り組む

「この技術を活用すれば、水質改善に大きな効果を生み出せるかもしれない。子や孫の世代が豊かに過ごせるよう、未来にきれいな水を残したい」と、事業を始めました。費用がかかる開発には国の「ものづくり補助金」を使い、実証実験や改良を

完成した装置は全国にある汚れた海や池で効果を発揮し、生き物たちが住める環境を取り戻すのに役立っています。「全国各地に足を運んだが、育った地元でも成果を生かしたい」。候補

「厚木は生活しやすい上に、多くの自然が残る良いところ。今ある資源をしっかりつないでいきたい」。真剣なまなざしを池に向ける二人は、自らの技術を武器に挑戦を続けます。



装置の作動を確認する武居さん(左)と小笠原さん(右)



事務所で製品を設計して形にする

条例改正で奨励措置を拡充 企業立地と操業継続を促進

「企業等の立地促進等に関する条例」を改正し、奨励措置を拡大しました。市外からの新たな進出を促し、市内企業の操業継続につながる設備投資を後押しします。

【拡大】
■戦略産業奨励金 最大10億円
市内経済への効果が大きい分野の工場などの立地に関わる費用の一部を補助

【拡大】
■企業立地奨励金 最大1億円
中小企業などの立地に関わる費用の一部を補助

【新設】
■設備投資奨励金 最大1億円
事務所の新設、移転、増設を問わず、大規模な設備投資にかかった費用の一部を補助。既存企業の市内での操業継続を後押しします。

【継続】
■税制優遇(5年間)
固定資産税と都市計画税の課税免除または5分の1への軽減

【企業立地ガイドブック】
支援制度の詳細に加え、立地の優位性、企業の声などを紹介。
詳細はこちら

【会員募集】
市勤労者福祉サービスセンター
ハートピア
市が2000年に設立した公益財団法人です。福利厚生サービスで中小企業を応援しています。
勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151

【会費】月額600円
■受けられる福利厚生サービス
慶弔給付、健康診断・人間ドックの助成、テーマパーク補助券、宿泊費の助成、飲食店・温泉施設割引など
詳細はこちら

600人が買い物と交流を楽しむ 夕焼け市でオープニングフェア



旬の野菜や豆腐など16店舗が並んだ

夕焼け市は毎年4、10月に開催し、今年で28年目。生産者と消費者が顔を合わせて買い物できる交流の場として、多くの方に親しまれています。夕焼け市出店組合の清水真理子組合長は「厚木の新鮮な野菜や食料加工品を楽しんでほしい」とあいさつ。来場した馬場理紗さん（40・妻田西）は「店員さんと話しながら楽しく買い物できる」と笑顔を見せました。夕焼け市は10月28日までの毎週水曜、17時から約1時間にわたって開催します。

市内産の農産物や食料加工品を生産者が直接販売する夕焼け市が、荻野運動公園で今年もスタート。4月8日にはオープニングフェアが開かれ、市民ら約600人が訪れました。夕焼け市は毎年4、10月に開催し、今年で28年目。生産者と消費者が顔を合わせて買い物できる交流の場として、多くの方に親しまれています。夕焼け市出店組合の清水真理子組合長は「厚木の新鮮な野菜や食料加工品を楽しんでほしい」とあいさつ。来場した馬場理紗さん（40・妻田西）は「店員さんと話しながら楽しく買い物できる」と笑顔を見せました。夕焼け市は10月28日までの毎週水曜、17時から約1時間にわたって開催します。



小学生の発明を市内企業が形に 青少年発明コンクールの作品を試作・贈呈



試作品を使う大橋さん

厚木商工会議所の製造業などで組織する「あつきものづくりブランドプロジェクト（ATSUMO）」（中村幹夫会長）は3月25日、こどもたちが取り組んだ「青少年発明コンクール」の応募作品を試作して発案者に贈呈しました。コンクールは、こどもたちのものづくりへの関心を高めようと毎年実施しています。試作されたのは、大橋丞さん（厚木小6年）が考案した「だれでも楽々キノコ型キャップ開け機」です。ペットボトルのキャップに持ち手付きの器具をかぶせて開けやすくする仕組みで、市内企業が形状を工夫するなど使いやすしい構造に仕上げました。試作品を手にした大橋さんは「家族にも使ってもらいたい」と喜んでいました。

スポーツを通じた地域づくりを

バレーボール「シズカ・バイキングス」と協定

高橋俊二代表は「地域に親しまれ、応援してもらえ、チームを目指したい」と抱負を語りました。チームはトップリングへの昇格を目指し、新設される下部リーグでの戦いをスタートさせます。



チームはSVリーグ・グロースに参入

市内を拠点に活動するバレーボールチーム「シズカ・バイキングス」と市は3月18日、スポーツを通じた地域づくりに関する協定を締結しました。市とバレーボールチームが協定を結ぶのは初めて。チームは昨年8月、元日本代表の高橋みゆきさんらを招いたバレーボール教室を市内で開くなど、地域に根差した活動を進めています。協定をきっかけに、今後はスポーツ振興をはじめ、青少年の健全育成や市民の健康増進、教育支援など幅広い分野で連携します。

初のパラリンピック出場を報告

アイスホッケー日本代表の松下選手



4年後を見据える松下選手

ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会でパラ・アイスホッケー競技に出場した松下真大選手（34・森の里）が3月18日、市役所で大会結果を報告しました。日本代表は、2季ぶりにパラリンピックに出場。松下選手はディフェンダーとして2試合に出場し、競技を始めて7年目で念願だった大舞台のリンクに立ちました。松下選手は「目標を果たすことができうれしかったが、世界とのレベル差も感じた。4年後に向けて努力を続けたい」と大会を振り返り、報告を受けた山口貴裕市長は「世界の舞台で躍動する姿は市民に勇気を与える。今後も活躍を期待している」とエールを送りました。

みんなの力でまちを元気に

あつぎの市民活動

ボランティアなどの社会貢献活動を支援するため、市民活動団体の登録制度を導入しています。連載では健康・スポーツ・文化芸術・福祉など、さまざまな分野の市民活動団体を紹介していきます。

4 森の里クリーンサークル

「森の里をごみのないきれいな街にしたい」という思いを持つ地域住民が集まり、17年前に発足しました。小学生から90代までの35人が活動に参加。一人一人が身近な清掃活動に取り組むほか、公園や遊歩道のごみ拾い、落ち葉掃き、枝拾いなどを行い、地域の環境美化に努めています。

今後も、日々の清掃活動を通じて、誰もが気持ちよく暮らせる環境づくりを進めていきます。



世代を超えた清掃活動

団体の詳細や問い合わせを希望する方は
市民協働推進課 ☎225-2101へ。

団体の一覧は
こちら



「退屈しないこと、よく笑うこと、どうにもならないことはよくよくよくしないこと」。長寿記録を持つフランス人女性が遺した言葉です。高齢者訪問でも、皆さんが健康や長生きの秘訣を「たくさん食べて、ストレスをためず笑顔で過ごすこと」と口をそろえていたことが印象的です。4月、鳶尾の「もりや亭」を訪ねました。空き家を改装した建物で、地域食堂として近所の皆さんの憩いの場となっています。楽器の演奏会

どでコミュニケーションの形が変わりつつある現代ですが、元気いっぱい交流を楽しむ人々の姿は不変です。もりや亭にお邪魔し、人と人が実際に顔を合わせられる関係の大切さを改めて実感しました。人生は、100年時代といわれています。これからも地域の「通いの場」をつくり、住み慣れた場所でも、誰もが最期まで自分らしく暮らし続けられる地域包括ケア社会の実現を目指してまいります。



「もりや亭」に集まった地域の方

や個展、ひな祭りなど季節にちなんだ飾り付けを楽しめる場所、地域福祉の拠点として認知症対策や介護予防の教室なども開かれています。訪れた当日も、集まった方々が会話に花を咲かせ、食事を楽しみながら大きな笑い声を上げていました。SNSの発達などでコミュニケーションの形が変わりつつある現代ですが、元気いっぱい交流を楽しむ人々の姿は不変です。もりや亭にお邪魔し、人と人が実際に顔を合わせられる関係の大切さを改めて実感しました。

タウンガイド

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📍=講座予約システム
 愛TV 5/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「不動尻のミツマタ」

#3月24日撮影
 #不動尻
 #七次
 #niceatsugi
 市公式インスタグラムで公開中



無料 あつぎ協働大学特別講座

AKB48
 倉野尾 成美さん
 ×
 日本テレビアナウンサー
 梅澤 廉さん

トークショー 参加者募集



「継続した『学び』の大切さ」をテーマにした講演会です。 ☎生涯学習課 ☎225-2512

《日時》7月19日 14~15時
 《会場》文化会館 《定員》370人

プロフィール

倉野尾成美さん

2000年生まれ。女性アイドルグループ「AKB48」のグループ4代目総監督として活躍。21年にYouTubeチャンネルを開設するなど、活動の幅を広げている。

梅澤廉さん

1993年生まれ。情報番組「ZIP!」のスポーツキャスターとして活躍。2024年2月に市観光特別大使に就任し、イベントの司会なども担当している。

☑6月15日までに、市HPにある電子申請システムから申し込み。抽選。



《日時》5月13日22時~14日7時。
 ☎DX推進課 ☎225-2459。

5月はあつぎ子ども月間・春の子どもまんなか月間

市では、子どもと子育て家庭を

支える社会づくりに向けて取り組んでいます。子どもたちの幸せを最優先に考え、地域全体で温かく見守り、支え合うまちづくりを進めましょう。 ☎子ども育成課 ☎225-2262。

あつぎストリートフェス (市民協働提案事業)

5月16日、17時30分~19時30分。中町花の公園。さまざまなジャンルのミュージシャンによるストリートライブ。無料。☑不要。☎文化魅力創造課 ☎225-2508。



で最も高い職位の奥絵師・狩野惟信によって描かれています。今後、一般公開を実施予定。詳細は市HPに掲載。☎文化魅力創造課 ☎225-2060。



納税通知書などの様式変更

国の定めた新たな税務システムへの移行に伴い、納税通知書、課税明細書、納付書の様式が変わりました。

詳細は、通知書に同封するしおりに掲載。

《対象税目》固定資産税、都市計画税。☎資産税課 ☎225-2030。

公共施設予約システムのシステム一時停止

システムメンテナンス中は、利用ができません。

蓮生寺の涅槃図 市指定有形文化財に指定

中依知の蓮生寺に伝わる江戸中期の絵画「紙本墨画淡彩仏涅槃図」が、市指定有形文化財に指定されました。

釈迦が亡くなる時の様子を描いた掛け軸で、江戸幕府の御用絵師

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》

◆セーフシティあつぎ推進条例の制定

《閲覧期間》5月1日~6月1日。
 ☎くらし交通安全課 ☎225-2148。

■市斎場条例の改正

《閲覧期間》5月11日~6月12日。
 ☎市斎場 ☎281-8595。

いずれも閲覧場所は市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲

石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP (◆はくらし交通安全課窓口、あつぎセーフティステーション番屋、■は市斎場)。
 《応募方法》閲覧場所にある用紙に掲載。

《意見交換会》

■第8次市行政改革大綱の策定

5月25日、19~20時。市役所本庁舎。手話通訳・要約筆記あり。☑不要。☎行政経営課 ☎225-2160。

厚木市 市民参加

検索

気軽に体験・健康増進

スポーツなじみDAY

子どもからお年寄りまで、誰もがニュースポーツに親しめるイベントです。

☎スポーツ魅力創造課 ☎225-2531

日時 5月16日 10~15時

会場 荻野運動公園

種目 屋内=セストシューター、ボッチャ、カーレット、体力チェックコーナーなど
 屋外=モルック、ティーボールなど

雨天時は屋内種目のみ

費用 無料

☑不要。室内履きをお持ちください。



詳細はこちら

楽しく交通安全を学ぶ

交通安全フェスタ

申し込み
不要

交通ルールやマナーを楽しみながら学びませんか。

日時 5月16日 13~16時
 (雨天中止)

会場 厚木中央公園

内容

- ①小学校低学年以下向けの交通安全クイズ
- ②白バイ・パトカー・はしご車の乗車体験
- ③ミニ縁日 (射的、スーパーボールすくい、バルーンアート)
- ④吹奏楽やダンスパフォーマンス

費用 ①②④無料

③1回100円 (①の参加者には1回無料券をプレゼント)

☎くらし交通安全課 ☎225-2760



ホット インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

4月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆1面でそれぞれの立場の人の思いが聞けて良かった/40代男性 ◆客引きで怖い経験をしたので、取り締まり強化で安心なまちになることに期待したい/70代以上女性 ◆「あつめき」の整備状況が具体的に分かり、オープンが待ち遠しい/60代男性 ◆青切符導入を機に自転車マナーの大切さを改めて感じた。ルールを守って乗りたい/40代女性 ◆牧野富太郎博士に献名したコケがあるとは思わなかった/70代以上女性

編集後記

取材をする中で、農家の方々には後継者不足や労働力の減少、肥料や電気代の高騰などたくさんの課題があるのだと改めて実感しました。私たちが普段から手に取っている野菜や果物は、農家の方の苦労や努力の上に成り立っているものだと分かり、これからはより一層の感謝を持って味わいたいと思いました。今回の紙面が、地元のトマトを手にとってもらうきっかけになればうれしいです/亀山



緑のまつり

日時：5月9・10日 10~16時
会場：厚木中央公園



詳細はこちら

サツキや円形花壇が会場を彩ります。大人も子どもも楽しめる花や緑にちなんだ催しを展開します。
☎公園緑地課 ☎225-2412

緑に親しもう教室・ワークショップ

■ **アニマル鉢の多肉毛糸玉** 9・10日
内容 多肉の根に毛糸を巻き、寄せ植えをする
対象 高校生以下各日30人
費用 500円



■ **木のかんなくずで作るカーネーションの花束** 9・10日
内容 かんなくずを使った花束作り
対象 各日50人
費用 1000円~(大きさによって異なる)



■ **花セラピーアレンジ教室** 10日
内容 生け花体験
時間 10時~14時30分(所要時間20~30分)
花材がなくなり次第終了
費用 小=1000円 大=1500円



イベント

■ **神奈中バス展示会** 9日
バスと記念撮影、グッズ販売

■ **サツキ苗プレゼント** 9・10日
時間 13時~(先着100人)
11時から整理券配布

■ **出張ロマンスカーミュージアム** 10日
缶バッジ作り(1個300円)、物販

いずれも☎不要。先着順。

あつぎ子ども月間に合わせ、青少年指導員や地域の方が親子で楽しめる催しを開催します。
☎青少年課 ☎225-2580

内容

手品、紙人形劇



なりわい節の発表



親子の絆を深める

子どもフェスタ

無料

5月10日 11時~15時30分
会場 あつぎ市民交流プラザ

空気砲作り



ペットボトルけん玉作り



その他にも

紙ブーメラン、風船気球、簡単たこ、折り紙ロケット作りなど



詳細はこちら

いずれも☎不要。

自然歳時記

● エナガ ●
エナガ科

全長13.5センチ、重さ8グラムほど。とても小さく細い枝にも止まれる。丘陵地から低山地までの林に生息し、コケ類やウメノキゴケ、クモの糸を使って大きな巣を作る。あつぎ子どもの森公園で見つけた。 写真・文/吉田文雄



「ジュリ、ジュリ」と鳴きながら、枝から枝へと軽快に飛び移るエナガの群れに出合った。逆さまにぶら下がり、さまざまな動きで昆虫やクモを捕まえて楽しそうに飛び回っていた。名の由来は、長い尾と体を柄に例えてエナガ(柄長)という。かわいらしい姿で、市制70周年を記念

して市の鳥にも指定された。しばらく足を進めると、ひなを連れた群れを見つけた。数羽の親鳥が、わが子ではないひなにも分け隔てなく、餌を運んでいた。5月は愛鳥週間。互いに助け合って生きる鳥たちの美しい姿を人間も見習いたい。

厚木市の人口
(4月1日現在)

🏠 世帯数

10万7585世帯(前月比510世帯増)

👤 人口

22万2053人(前月比18人増) 男11万4460人・女10万7593人